

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 11 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		事務所や玄関に理念を掲示しているが、職員に意義やケアについて確認する機会がない。	職員と一緒に理念の意義とケアの実践を振り返る機会を作り、よりきめ細やかなケアに繋げていく。	①毎日の申送りにて復唱②月1のミーティング時に再確認③半年後に再確認	12ヶ月
2		ハード面でも拘束はしておりません。また、ソフト面でも配慮をしているが、よりきめ細やかなケアをしていくための見直しや入居者様に対しての接し方の改善をしていく必要がある。	施設や目に見える身体拘束のみではなく、スピーチロックや表情、表現等も含め職員の対応によって感じる拘束の意味を、マニュアルに照らし合わせたり、日々のケア等を通して話し合い理解を深め、ケアに活かす。	①それぞれの悩みのことや事例のアンケート②その中で厳選して事例を取り上げ、一人ひとりの人格の尊重、誇りやプライバシーについて意見交換③評価と目標	12ヶ月
3		面会時にお話をお伺いするようにしておりますが、ご家族様との話し合いを定期的にはしていません。まだまだ意見の反映が不足しているとおもいます。	事業所として出来ること出来ないことを職員間でよく話し合い明確にしたうえで、家族とも話し合い、年1回は意思確認をしていくようにする。	①家族会の提案②アンケートの実施③アンケート集計④お知らせ⑤家族会の開催⑥振り返り	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。